

1 高校からの接続

1-1 高校時代の学習

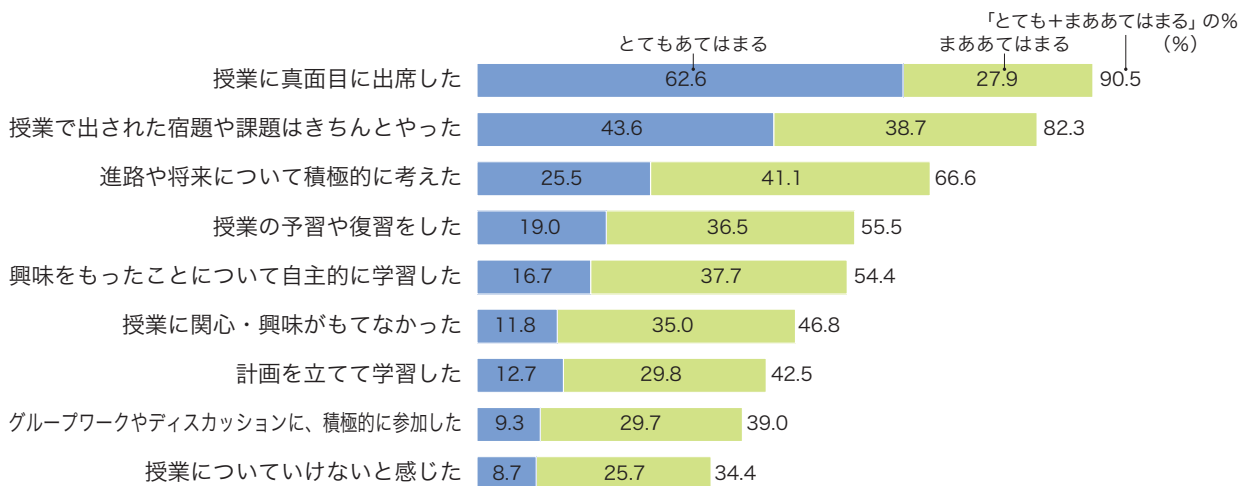
高校時代に課題解決型の学びを経験した学生は、約8割。

高校時代の学習の様子をみると、「授業に真面目に出席した(とても+まああてはまる)」が90.5%に対して、「授業に関心・興味もてなかった(同)」が46.8%、「授業についていけないと感じた(同)」が34.4%である。高校時代の授業に、関心・興味もてない、ついていけない、と感じながらも、大学に進学する学生が一定数存在することがわかる。高校での探求的な学びの経験をみると、「課題を解決するための方法を考える(よく+ときどきあった)」、「課題を解決するための情報を集める(同)」はいずれも8割である。大多数の学生が、高校で課題解決型の学びを経験している。

Q

高校時代の学校や家での学習の様子についてお聞きます。(2016年)

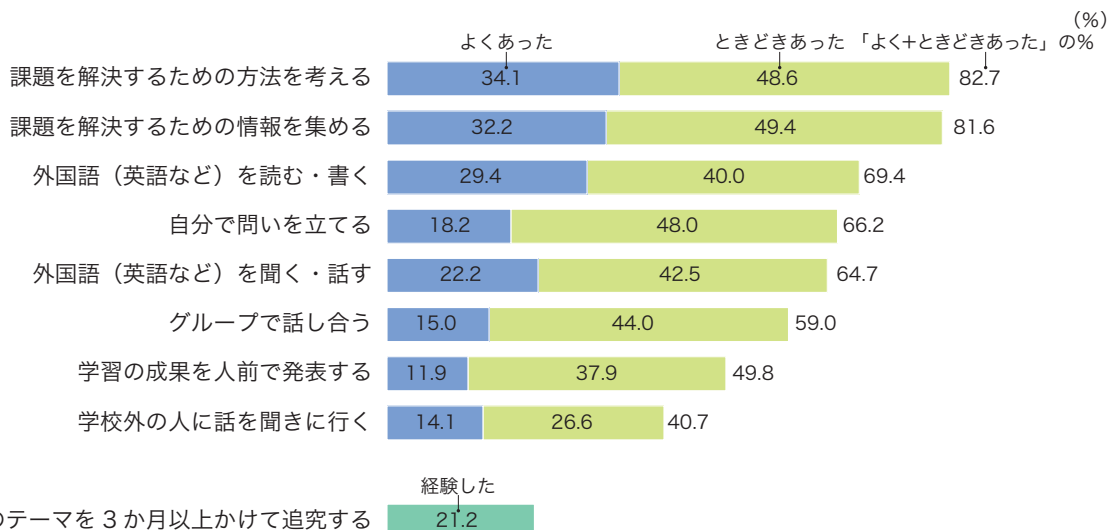
図1-1 高校時代の学習態度



Q

あなたは高校時代の学習に際して、次のようなことをどの程度経験しましたか。(2016年)

図1-2 高校時代の探求的な学びの経験



注)「1つのテーマを3か月以上かけて追究する」は「経験した」「経験しなかった」の2つの選択肢、その他項目は「よくあった」「ときどきあった」「ほとんどなかった」の3つの選択肢で回答。

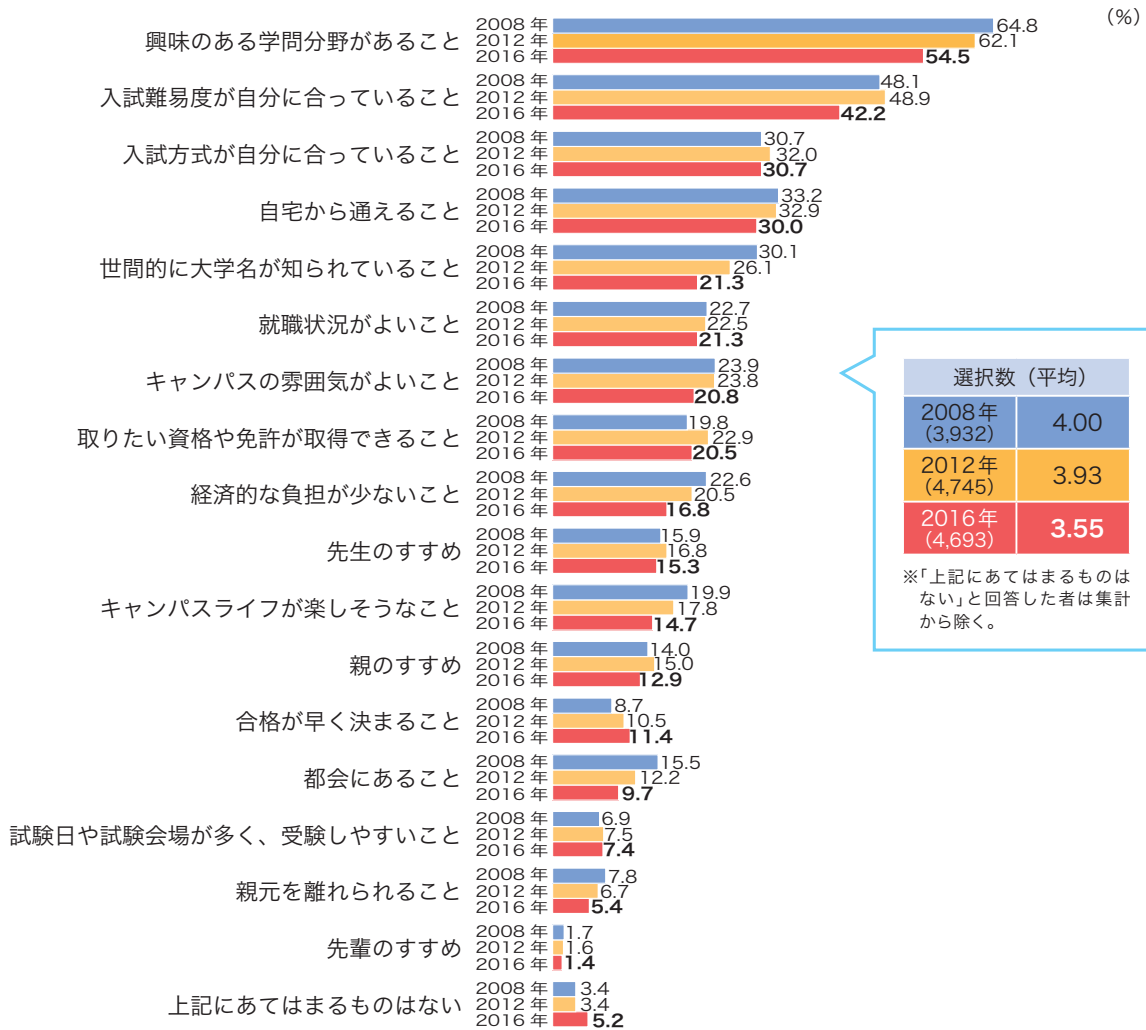
1-2 進路決定

大学選択でもっとも重視されるのは「興味のある学問分野」。約8割が満足して入学。

大学を決める際に重視した点(複数選択)をみると、順位に大きな変動はないが、1人あたりが選択する項目の数が減少している。8年前と比較し、受験大学を選択する際に、いくつかの点から検討しない学生が増加している。また、約8割が「とても+まあ満足して入学した」と回答している点については、4年前から変化はない。

Q 受験する大学・学部を決める際に重視した点について、あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

図1-3 大学選択で重視した点



Q 現在の大学・学部に入學したときの気持ちとして、もっとも近いもの1つをお選びください。

図1-4 入学納得度

